

事務事業名 地域福祉計画推進事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：226

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-18-00
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成17年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			<p>・「筑紫野市地域福祉計画等推進委員会」を開催し、計画の進捗管理を行うことで、地域福祉の確実な推進を図る。</p> <p>【活動内容】 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会（委員数15名、年2回開催）</p> <p>・福祉に関する啓発活動を行っている「ちくしの福祉村」運営委員会が公開講座を行うことで、計画が目指している地域福祉の推進や福祉意識の醸成を図る。</p> <p>【活動内容】 「ちくしの福祉村」運営委員会（委員数16名、カミ・リヤで開催） 令和3年度テーマ：「コロナ禍における地域活動の実践例」 公開講座回数：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。 定員50名以下かつ事前に参加者を把握することで、講座（学習会）を1回開催した（11月27日）。</p>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			市民のだれもが安心して暮らせる福祉のまちが実現する。							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標	
相互扶助で地域福祉ができていると思う市民の割合（市民アンケート）		%	23	19.8	25	25			25.2	
「ちくしの福祉村」の受講者数		人	78	44	350	350			500	
5. コスト										
事業費		計	千円	11	76	339	339			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般	千円	11	76	339	339			
正職員人工数		人工	0.42	0.59	0.49					
正職員人件費		千円	3,372	4,673	3,787					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,383	4,749	4,126	339				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		市民アンケートの結果では、令和元年度の20.9%から、令和2年度は23%に増加しが、令和3年度は19.8%に減少している。 「ちくしの福祉村」公開講座は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加人数を50人以下に限定し、かつ参加者も事前に把握した上で、講座（学習会）を1回開催した。 令和4年度はさらに活動を活発化し、魅力ある企画をたて講座のPRを推進していく。あわせて各コミュニティ運営協議会などに対して、直接公開講座の案内を実施する等、受講者数増加に向けた取組を行う。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	新型コロナウイルス感染症のため、通常の公開講座での開催は困難であったが、運営委員の活動意欲が高く、「福祉の灯」を消さないように、いろいろなアイデアを出しあって、講座を開催することができた。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
魅力ある運営委員会活動を行うことで、新たな委員の加入促進を図る。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
社会福祉法に基づき、平成17年に「筑紫野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画」を策定（平成22年度に見直し実施）。平成26年に「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定し、令和2年度に中間見直しを実施した。										